

Q. 環境基本計画実施に伴う行政の役割とは

Q. 学校教育、社会教育における環境への取り組みについて

質問 住民・事業所・行政の協働による環境基本計画の実

環境基本計画実施に伴う行政の役割とは



岩木 雅徳 議員

査し、そこから導かれる課題を研究し、学校、家庭、地域が連携して、児童生徒の学力向上と学習環境の改善を図るための方策を探り、本町教育の振興に資することを目的に今年度設置する。推進会議のメンバーは、教育委員、校長会、PTAの代表を交えた8人程度を予定している。

なお、資料収集や調査研究の実施機関として、教職員と教育委員会職員で構成する「学力向上推進委員会」を設ける。

施に向けて、行政の役割を具体的に伺いたい。



町長 環境基本計画の基本理念を「一人ひとりが、地域と地球の豊かな環境を未来に伝える循環型のやさしいまち」と定め、基本目標を「水と緑」「ゴミ」「地球環境」「環境教育・環境学習」の4項目とし、それぞれに成果指標と目標値を定めている。

河川の保全として取組む家庭廃食油の回収については、町内4カ所に回収拠点を設け、5月から11月までの間、吉野園の協力を得て車の燃料として精製し再利用する。次に、環境美化については、6月第2日曜日に、町内一斉に地域住民と事業者の協力を得て「クリーンキャンペーン」を実施するとともに、フリーマーケットの継続、綿製品回

収については、役場庁舎で通年回収を実施する。

また、不法投棄の防止看板を主要箇所に設置するとともに、安全・安心推進協会の協力を得て、防止パトロールを行なう。

この環境基本計画は、毎年評価の進行管理を行い、柔軟に計画の推進に努め、逐次達成目標を少しずつレベルアップし、3年ごとに調整を行いながら、その積み重ねにより10年の目標を実現するものである。



春のボランティアごみ拾い

学校教育、社会教育における環境への取り組みについて

質問 「環境問題は学校での取り組みも重要と思われ、学校教育、社会教育の分野での具体的取り組みを伺いたい。

教育長 環境基本計画の基本理念に従い、自然との共生を認識した環境教育、環境学習を推進する。小学校では理科や社会科、総合的な学習の時間で、生き物と環境の関連や河川の水質問題などの体験学習の取り組みを実施する。中学校でも教科の中で地球環境を学んでいる。また、児童・生徒会の自主活動として、ペットボトルキャップの収集や牛乳パックの回収、校舎周辺のゴミ拾いを実施している。

一方、社会教育の分野では、住民の皆さんが取り組んでいる活動そのものを尊重し、物を大切にすることを基本に、少しでも環境に配慮した社会生活を送っていただけよう、一人ひとりの環境意識の高揚に期待すると考えている。